

越野運送

パートナーシップ構改実験、CO2従来の3割に



越野運送(越野泰弘社長、大阪市都島区)が進めてきた2009年度荷主等とのパートナーシップによる構造改善実証実験事業が20日に終了。輸送形態の見直しと低公害車の導入で、速報値で二酸化炭素(CO2)排出量を従来の3割に抑制した。

実験は、繊維専門商社のヤギ(八木秀夫社長、中央区)がダスキン向けセリング(売り切り)商品の納品に当たり、環境保全を考慮したグリーン物流を越野運送とプロジェクト(PJ)を組んで行ったもの。

これまでヤギが、ダスキン埼玉中央工場、同大阪中央工場にレンジフードふきんをはじめとするセリング商品を製造する複数の工場からトラックを仕立てていた。

[⇒最新ニュースTOPへ](#)